

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

中央区

【特性】▶市のほぼ中央部に位置する中央区は、従来、狭い区域の中で一体的なまちづくりが行われてきたことから、都市基盤の整備も進んでおり、地域のコミュニティのつながりも深いことが特徴といえます。また、古くから市場町、宿場町として栄えた歴史から蔵造り住宅などの街並みや文化財が残るとともに、区の東北部に位置するさいたま新都心地区とその周辺では新しい中高層の建築物も増えており、文化的な風情と近代的な景観の都市的な魅力が共存しています。

都市基盤・環境

中央区は、区の中央部を縦断するJR埼京線の3駅（北与野駅、与野本町駅、南与野駅）に加えて、区の東側を走るJR京浜東北線の2駅（与野駅、さいたま新都心駅）にも接しており、どこからでも10分程度で鉄道を利用できます。また、幹線道路としては、南北方向に国道17号と新大宮バイパス、東西方向には国道463号が伸びており、新大宮バイパス上には高速埼玉大宮線もあることから、区内だけでなく広域的な移動においても利便性が高くなっています。

公民館などの身近な公共施設や下水道、公園なども区全体にわたって概ね整備されています。今後は、都市化の進展による緑の減少への対応、古い街並みと新しい都市空間の調和、歩いて楽しいまちづくりなど、生活環境の質の向上が重要です。

また、与野駅と与野本町駅とに挟まれた区域には、区役所を中心とする公共機関及び商業・サービス業が集積しており、旧与野市時代からまちの中心となっています。しかしながら、交通利便性の向上と市民の生活圏域の拡大に伴って、既存の商店街の活力が失われている面などもあり、今後は、中央区として市内の他区の機能との連携を図りながら、区民のニーズに応えられるまちの核づくりに努める必要があります。



さいたま新都心

地域資源

ほぼ全域が市街化区域となっている中央区では、区の中央を流れる鴻沼川・高沼用水や与野中央公園などの緑が自然と触れあう貴重な資源となっています。今後、その保全や質の向上を図るとともに、より積極的に新しい緑を生み出し、広げていくことが重要です。

また、区内にはさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場など、広域的に集客できる機能があり、こうした都市機能と有機的に連携したまちづくりを進めていくことも求められます。

コミュニティ

中央区では、地域のまとまりの良さもあって、従来から地域住民によるコミュニティ活動が活発に行われ、それらの活動の連携も進んでいます。しかし、これからのまちづくりには、新しく転入してくる住民や地域との関わりが薄い若い世代などの力も必要です。長い歴史を持つ既存の地域コミュニティの実績や人のつながりを生かしながら、より柔軟な新しいコミュニティの形成にも努め、人々の交流をまちづくりの基盤にしていくことが課題です。



西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

中央区の将来像

新しい都市文化の創造と ふれあい 交流が育てる安心な暮らし

中央区には、古くから引き継いできた歴史と文化の薫る街並みと家族のような人々の深いつながりがあります。その従来からの良い面を守りながら、さいたま新都心を中心とする新しい都市の魅力を加え、“美しいまち”“美しい心があふれるまち”を創り、次の世代に伝えていくため、人々が積極的に発言し、主体的に行動するまちを目指します。

まちづくりのポイント

1 緑豊かな環境づくり

- 公園や屋敷林、農地などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成
- 人々の意識・モラルの向上により、ごみの減量化やリサイクル、省エネルギーによる環境と共生できる循環型社会の形成



与野公園

2 地域資源を生かしたにぎわいづくり

- 街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を生かした、古いものと新しいものの調和
- さいたま新都心の諸機能の活用による魅力ある地域の実現
- 駅周辺の未利用地や道路空間などを有効活用した、人々の集まる新たな空間の形成と既存の商店街の活性化



彩の国さいたま芸術劇場

3 地域に誇りと愛着を持つ人づくり

- 明日を担う心身ともに健全な子どもたちの育成と地域の特性を生かした教育の推進
- 地域の伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践

4 みんなで互いに支え合う安心な生活づくり

- 地域で安心して子どもを育てられる体制の整備
- 地域福祉の充実による高齢者や障害者の安心で生き生きとした暮らしの確保

5 区民の意見に基づく地域に根ざしたまちづくり

- 区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実
- 区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出
- 地域に根ざした従来のきめ細かいサービスの維持・向上と他区との連携による新しいサービスの展開

■ 人口の見通し

項目	面積(a) (km ²)	人口(b)		人口密度(b/a)	
		平成17年 (人)	平成25年見通し (人)	平成17年 (人/km ²)	平成25年見通し (人/km ²)
中央区(A)	8.39	91,001	94,000	10,846	11,200
さいたま市(B)	217.49	1,185,777	1,268,000	5,452	5,800
市全体に占める割合(A/B)	3.9%	7.7%	7.4%	—	—

注1：面積は、国土地理院「平成16年 全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2：平成17年の人口は、住民基本台帳及び外国人登録による10月1日現在の人口。平成25年見通しは概数。

注3：端数処理の関係上、区ごとの「市全体に占める割合」を合計すると100にならないことがあります。



与野の大カヤ

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部